

1999年1月22日

[参考資料]

報道関係者各位

[リリース 日本語訳]

## バルティス 1998年度売上5%増 317億スイスフラン (約2兆8,600億円)

1月21日、スイス・バーゼル市

ノバルティスは1998年度のグループ売り上げを、317億スイスフランと発表しました。これは前年に比べて、現地通貨で5%増加、スイスフランで2%の増加です。

### バルティス グループ通年売上と第4四半期売上

	1998年		1997年		前年比	
	百万スイスフラン	億円 <sup>1)</sup>	百万スイスフラン	億円 <sup>2)</sup>	スイスフラン	現地通貨
通 年	31,702	28,595	31,180	26,260	2%	5%
第4四半期	7,112	6,415	7,329	6,172	-3%	2%

<sup>1)</sup> 換算レート: 1スイスフラン= 90.20円

<sup>2)</sup> 換算レート: 1スイスフラン= 84.22円

### ヘルスケア (現地通貨で7%増加)

医薬品は6%増加しました。その成長に大きく貢献した製品は、骨吸収抑制剤「アレディア」(61%増)、持続性ソマトスタチンアナログ製剤「サンドスタチン」(38%増)、高血圧症治療薬「チバセン」(27%増)、ぜん息薬「フォラジール」(27%増)、骨粗鬆症治療薬「ミアカルシック」(21%増)でした。最重要製品である免疫抑制剤「サンディミュン/ネオーラル」は、移植領域における第一選択薬としての地位を維持し、18億スイスフラン(5%増)を越える売り上げを達成しました。高血圧症治療薬の新しい分類に属する「ディオバン」および「コディオバン」は、あわせて4億900万スイスフランという、記録的な年間売り上げを達成しました。抗真菌薬のマーケット・リーダーである「ラミシール」(5%増)は、日本と米国において飛躍的にマーケットシェアを伸ばしました。高コレステロール血症治療薬の「レスコール/ローコール」は、営業努力と日本での上市によって、激しい競合に打ち勝ち、全期間を通じて1%の伸びを維持しました。移植における急性拒絶反

応に対する新しい免疫抑制剤「シムレクト」は、米国におけるすべての主要な移植医療機関で大変速く採用されました。アルツハイマー病治療薬「エクセロン」は、現在44ヶ国で承認され、28ヶ国で臨床の現場で用いられており、間もなく米国でも承認される予定です。一方、持続性ソマトスタチンアナログ製剤「サンドスタチンLAR」は11月に米国で承認されました。地域別では、年間を通じてヨーロッパ地域での業績が特に優れていました。日本は、経済の継続的な低迷と医療費抑制政策によって、医薬品市場全体が縮小し、非常に厳しい状況でしたが、「ローコール」の上市と「ラミシール錠」の成功によって、部分的に売り上げの減少がカバーされました。

**ジェネリック**は13%増でした。セファロスポリンとその他のバルク製品の素晴らしい業績により著しく伸びました。市販用の後発品は、ドイツでは厳しい市場環境にみまわれましたが、東ヨーロッパとアジアならびにラテンアメリカで堅実な成長をみました。米国では引き続き堅調に推移しました。HMRのフランクフルトの醗酵用工場の取得は11月に完了し、将来の貢献が期待されています。

**チバビジョン**は9%増加しました。第4四半期の売り上げが目覚しく、通年成績を大きく増加させました。眼科用医薬品では、非ステロイド性抗炎症剤「ボルタレンオフト」と、ジェル状人工涙液「ビスコティアーズ」が牽引力となりました。オプティックスは、頻回交換型コンタクトレンズ「フォーカス」シリーズの好調に支えられ、堅調に推移しました。革新的技術から生まれた1日使い捨てソフトコンタクトレンズ「フォーカス デイリーズ」は、ヨーロッパの主要市場でリーダー的地位を獲得しました。連続装用コンタクトレンズ「フォーカス ナイト&デイ」が世界に先駆けてメキシコで上市されました。

## アグリビジネス (現地通貨で4%増)

**農薬**は2%増加しました。殺虫剤、グリーンビジネス関連剤と種子処理剤は好調に推移しましたが、除草剤は、特に米国で農業資材の価格が低迷し、価格競争が激しく、売り上げが伸び悩みました。目覚ましい伸びが見られたのは、ラテンアメリカ、特にブラジルと、アジア太平洋地域でした。ヨーロッパではベネルックス3国と南ヨーロッパにおいては好成績を納めましたが、殺菌剤の市場競争が年初に激化し、全体としては大きな伸びは見られませんでした。顕著な売り上げ増加を見せた主な製品は、除草剤「トピック」、殺菌剤「リドミルゴールド」、殺虫剤「ベルティメック」でした。無灌漑栽培トウモロコシの種子処理用殺虫剤「クルーザー」は、南アフリカで8月に認可され、急速に売り上げを伸ばしました。

**種子**は12%増加しました。この大きな伸びには、米国におけるBtコーン（遺伝子組換えトウモロコシ）に対する需要の高まりが寄与しています。ノバルティス種子の高い品質レベルにより、ヨーロッパのヒマワリ、北大西洋自由貿易地域（NAFTA）の大豆が大きく売り上げを伸ばしました。テンサイの売り上げは、ヨ

ヨーロッパにおいて作付け面積が減少したためマイナス影響を受けました。野菜と花卉は、すべての主要市場でさらに加速度を増して伸びています。

**動物薬**は5%増加しました。ノミおよび内部寄生虫駆除薬「センチネル」は、米国でほぼ3倍に伸び、ペット用寄生虫駆除薬市場におけるノバルティスの地位を確実なものとししました。6ヶ月有効な猫用ノミ駆除薬「プログラム注射液」が米国、ヨーロッパ、日本、オーストラリアで上市され、ノミ駆除薬の分野でも動物薬セクターは、強固な地盤を固めました。犬の分離不安症治療薬「クロミカルム」は、ヨーロッパで上市され、米国で承認されました。家畜用動物薬モラテンアメリカおよび、ヤング社を統合したオーストラリアとニュージーランドで好成績を納めました。

## コンシューマーヘルス (現地通貨で3%増)

**栄養食品**は6%増加しました。スナック菓子のローランド社(スイス)と、医薬品流通ビジネスのレッドライン社(米国)を売却し、非中核ビジネスを切り離す作業は順調に進んでいます。年末にはイタリアの無糖食品ビジネスを売却し、スナック菓子のOLW社(スウェーデン)におけるノバルティス資本の引き上げに関する契約を終結させました。非中核ビジネスで未だ売却が済んでいないのは、ワッサ社とエデン社の2社のみとなりました。乳幼児用栄養食品は、有機食品の「テンダーハーベスト」シリーズが、米国で力強く伸びており、またラテンアメリカでは市場の伸びを上回る増加率を達成しました。医療用栄養食品では、「リソース」と、ヘルスケア・フードサービスが順調に展開しています。

**一般薬**は2%減でした。鎮痒剤「フェニスティル(Fenistil)」、静脈瘤治療薬(下腿)「ベノルトン(Venoruton)」ならびに、禁煙補助薬「ニコチネル」の売り上げ増が報告されました。ヨーロッパでの伸びは満足できるもので、市場程度の増加を得ました。北米では、主要製品のカテゴリーではシェアを維持しましたが、売り上げの増加は頭打ちとならざるを得ませんでした。これは、小売り業界の急激な統合により、一時的な在庫調整が行われたことと、今冬の感冒の流行が少なかったためです。日本では、11月に一般薬ビジネスに参入するため、花王株式会社との調印がなされました。

## 1998年業績

ノバルティスは今、合併による相乗効果が大きく現れています。通年の営業利益は増加し、さらに、好調な投資パフォーマンスを反映して、財務収支の増加も見込まれます。よって、純利益は大きく飛躍すると予測しています。詳細は、3月16日の記者会見(ロンドン)において年次報告書と共に発表する予定です。

ノバルティスは、ヘルスケア、アグリビジネス、コンシューマーヘルス（一般薬、栄養食品）を事業の柱とする、ライフサイエンスにおける世界的リーダーです。1998年度ノバルティス・グループの売り上げは317億スイフランで、そのうちヘルスケアは175億スイフラン、アグリビジネスは84億スイフラン、コンシューマーヘルスは58億スイフランでした。研究開発への投資は年間36億スイフランを越えます。スイス・バーゼルに本拠を置くノバルティスは、約8万5000人の社員を擁し、世界100カ国以上で事業を行っています。

お問い合わせ先

**ノバルティス ジャパン株式会社**

〒105 - 6137 東京都港区浜松町2-4-1世界貿易センタービル137階

広報担当・北原 文代 電話：03-5403-1485 ファクシミリ：03-5403-1477

**ノバルティス ファーマ株式会社**

〒106 - 8618 東京都港区西麻布4-17-30

広報担当・渡辺 邦男 電話：03-3797-8027 ファクシミリ：03-3797-4367

**ノバルティス アグロ株式会社**

〒105-6133 東京都港区浜松町2-4-1世界貿易センタービル133、34階

広報担当・秋山 巍人 電話：03-3435-5258 ファクシミリ：03-3435-4010

**チバビジョン株式会社**

〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー 13階

広報担当・清野 美智恵 電話：03-5461-1301 ファクシミリ：03-5461-1396

**ノバルティス シート株式会社**

〒289-2304 千葉県香取郡多古町高津原向ノ台401-2

広報担当・館沢 佑 電話：0479-75-3111 ファクシミリ：0479-75-3122

## 1998年売上

	1998年		1997年 <sup>1)</sup>		前年比 %	
	百万スイフラン	億円	百万スイフラン	億円	スイフラン	現地通貨
<b>ヘルスケア</b>	<b>17,535</b>	<b>15,817</b>	<b>16,987</b>	<b>14,306</b>	<b>3</b>	<b>7</b>
医薬品	14,501	13,080	14,112	11,885	3	6
ジェネリック	1,529	1,379	1,452	1,223	5	13
チバビジョン	1,505	1,358	1,423	1,198	6	9
<b>アグリビジネス</b>	<b>8,379</b>	<b>7,558</b>	<b>8,327</b>	<b>7,013</b>	<b>1</b>	<b>4</b>
農薬	6,021	5,431	6,088	5,127	-1	2
種子	1,457	1,314	1,346	1,134	8	12
動物薬	901	813	893	752	1	5
<b>コンシューマヘルス</b>	<b>5,289</b>	<b>4,771</b>	<b>5,255</b>	<b>4,426</b>	<b>1</b>	<b>3</b>
栄養食品	3,598	3,245	3,500	2,948	3	6
一般薬	1,691	1,525	1,755	1,478	-4	-2
<b>売却したコンシューマヘルスビジネス</b>	<b>499</b>	<b>450</b>	<b>611</b>	<b>515</b>		
<b>合計</b>	<b>31,702</b>	<b>28,595</b>	<b>31,180</b>	<b>26,260</b>	<b>2</b>	<b>5</b>

## 第4四半期売上

	1998年		1997年		前年比 %	
	百万スイフラン	億円	百万スイフラン	億円	スイフラン	現地通貨
<b>ヘルスケア</b>	<b>4,198</b>	<b>3,787</b>	<b>4,192</b>	<b>3,531</b>	<b>0</b>	<b>5</b>
医薬品	3,444	3,106	3,481	2,932	-1	3
ジェネリック	369	333	353	297	5	9
チバビジョン	385	347	358	302	8	12
<b>アグリビジネス</b>	<b>1,548</b>	<b>1,396</b>	<b>1,620</b>	<b>1,364</b>	<b>-4</b>	<b>1</b>
農薬	1,131	1,020	1,225	1,032	-8	-3
種子	233	210	204	172	14	21
動物薬	184	166	191	161	-4	3
<b>コンシューマヘルス</b>	<b>1,301</b>	<b>1,174</b>	<b>1,364</b>	<b>1,149</b>	<b>-5</b>	<b>0</b>
栄養食品	868	783	878	739	-1	4
一般薬	433	391	486	409	-11	-7
<b>売却したコンシューマヘルスビジネス</b>	<b>65</b>	<b>59</b>	<b>153</b>	<b>129</b>		
<b>合計</b>	<b>7,112</b>	<b>6,415</b>	<b>7,329</b>	<b>6,172</b>	<b>-3</b>	<b>2</b>